第2期北名古屋市図書館サービス計画

図書館資源×多彩な連携によるアクション

限りある資源をみんなのアイデアと行動で活かす

令和7年7月

目　次

北名古屋市図書館サービス計画について　……1
1　図書館サービスに関する経緯・現状　……2
⑴　経緯　……2
⑵　アンケートによるニーズ把握　……3
アンケート調査（H24・H28・R7 年度）に見る利用形態　別添１
⑶　図書館に関する社会的ニーズ　……4
⑷　利用状況の変化　……4
利用実績グラフ　別添２
⑸　図書館サービスの現状　……5

2　新たなサービス計画骨子　……5

3　基本方針について　……8

4　目標設定について　……8

5　北名古屋市図書館のサービス展開について　……8
⑴　目標に基づく取組　……8
⑵　基本的な取組　……１６

北名古屋市図書館サービス計画について

図書館サービスとは、「図書館機能を必要とする対象（顕在・潜在）に、図書館資源（施設・資料・サービス）を提供することであり、図書館のサービス計画は、図書館機能を必要とする対象（顕在・潜在）に、資源価値（施設・資料・職員）の最大化を図りつつ、効率的に（資源の活かし方を定期的に見直し、最善の手法で）サービスを展開し、政策効果を上げるための道筋」とされています。

また、図書館法第 7 条の 2 に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成 24 年 12 月 19 日文部科学省告示第 172 号）では、設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定することとされています。

北名古屋市図書館では、新たなサービス計画を策定するに際して、計画の骨子、基本方針、目標設定を行い、急激な変化に対応できるよう具体的なサービス計画の展開については年度ごとに策定するものとします。

サービス計画期間：令和 7 年 7 月から令和 12 年 6 月までの 5 年間とする。

サービスの展開策定期間：1 年

【計画の副題】

図書館資源×多彩な連携によるアクション
限りある資源をみんなのアイデアと行動で活かす

図書館を軸とした読書活動が市民・学校・企業・団体などとの協働により持続すること。さらに、将来さらなる発展した読書活動の場になるように活かしていきたいという思いを込めています。

1　図書館サービスに関する経緯・現状

⑴　経緯

北名古屋市図書館は、平成 2 年に師勝町図書館、平成 4 年に西春町図書館として開館し、平成 18 年の合併により、北名古屋市東図書館、西図書館として 2 館を運営し、令和 3 年 10 月に両図書館を北名古屋市図書館（旧東図書館）として統合しました。

本市図書館においては、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に沿って平成 26 年度に「北名古屋市図書館の現状と課題」を図書館協議会に提示するとともに、図書館のサービス計画について「北名古屋市図書館のサービス展開」として毎年提案・承認のもとサービスの展開を図ってきました。

平成 27 年度には、「北名古屋市図書館業務基準」を改定し、「図書館利用状況の好転について－新事業の展開と利用実績の好転」、「東図書館・歴史民俗資料館のあゆみと動線リニューアルについて」を提起し、図書館利用の促進を図ってきました。

令和元年度には、「図書館サービスの新展開について」として、地域資料、地域情報の発信を行うこととしました。

子ども読書活動の推進については、平成 26 年 2 月に「北名古屋子ども読書活動推進スキーム(※)」を策定し、同年 4 月より「「子ども読書の日」記念事業－図書館は玉手箱！」を毎年開催してきました。しかし、令和 2 年に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、事業の休止、中止を余儀なくされました。

こうしたコロナ禍において、また市の事務事業の見直しを図るなかで、複数ある公共施設の統合が進められ、令和 3 年 9 月末をもって西図書館を旧東図書館に統合することとなりました。

そこで、令和 3 年 10 月から、名古屋芸術大学アートスクエア（文化勤労会館）1 階受付に予約本受取窓口を開設し、旧西図書館利用者の面的サービスを補完しました。

令和 4 年 7 月に「北名古屋市図書館サービス計画」を策定し、「急激な変化に対応するための計画」としてコロナ禍及び図書館の統合という急激な変化への対応をしてまいりました。

子どもの読書活動については、令和 6 年度から令和 10 年度までの 5 年間の計画期間で、子どもをまんなかに、家庭・地域・学校などの関係機関や民間団体等との連携強化により、「みんなで伝えたいいっさつのほんがくれること」を基本方針とした「北名古屋市子ども読書活動推進計画」を策定しました。

令和 7 年 7 月からの 5 年間では、この社会環境の変化を踏まえ、さらに、子ども読書

活動推進を一体とすることにより、読書活動のすそ野を大きく広げることを目指した「第2期北名古屋市図書館サービス計画」を策定します。

(※)スキーム…枠組み・計画

⑵　アンケートによるニーズ把握

利用者のニーズを把握するために、平成24年度、平成28年度、令和3年度、令和7年度に利用者アンケートを実施しました。

◆満足度について

平成24年度の全体の満足度は「満足」の回答が37.0%、平成28年度には41.3%、令和7年度には55.3%と上昇しています。しかし、「満足」及び「ほぼ満足」を集計すると、平成24年度85.0%から平成28年度89.2%と上昇していましたが、令和7年度は83.2%とやや低下しています。これは、「職員の対応」、「調べもの相談のしやすさ」等の人的要素に関わる部分及び資料の充実度の両面においての満足度の低下がみられるため、サービス向上に向けた個別の課題対応が必要となっています。

◆滞在時間・利用頻度について

滞在時間については、平成24年度、平成28年度は「1時間程度」が最も多く、続いて「30分未満」であったが、令和7年度は、「30分未満」が最も多く、続いて「1時間程度」と、さらに短時間利用者が増えていることがわかりました。

また、利用頻度については、平成24年度、平成28年度は「月に1～2回程度」が最も多く、続いて「1週間に1回」となっていたが、令和7年度は、「1週間に1回」が67.1%と最も多く、続いて「ほぼ毎日」21.6%と、以前と比べて図書館の利用頻度が高くなったことがわかりました。また、「ほぼ毎日」が平成24年度には8.7%、平成28年には3.1%と減少していましたが、令和7年度には21.6%と上昇しています。

図書館利用者の多くは滞在時間は30分未満と短時間となり、以前より図書館を利用する頻度が高くなる傾向がみられます。

◆利用目的について

図書館の利用目的については、「本や雑誌を借りる」50.0%と最も多く、続いて「館内で本や雑誌、新聞などを読む」が12.2%、「本を予約・リクエストする」が9.1%となっています。

◆図書館からのお知らせや情報で読んだことがあるものについて

図書館からのお知らせや情報で読んだことがあるものについては、「広報北名古屋」は

29.8%、「図書館のホームページ」は26.2%、「図書館だより」は4.4%、「どれも読んだことがない」は39.6%と図書館が発信する情報へのアクセスが低いことがわかりました。

◆今後充実してほしいものについて

今後充実してほしいものについては、「本や雑誌の充実」が43.0%、「予約、リクエストサービスの充実」が10.7%となっています。

アンケート結果から、重要な課題として利用者の満足度の向上を捉える必要があり、計画には、ホームページを充実させるなど情報発信の質及び量の向上や、セルフ貸出機の導入、Wi-Fi環境の整備により読書環境の整備を行うこと、子どもの読書活動を推進していくことを目標に掲げています。

別添１　アンケート調査（H24・H28・R7年度）に見る利用形態

⑶　図書館に関する社会的ニーズ

・課題解決支援：子育て支援、ビジネス・就業支援、医療・健康情報等

・学校教育支援：図書館と学校図書館のシステム連携・郷土学習

・オンラインサービス：電子書籍、デジタルコンテンツ(※)の提供

・居場所づくり：カフェの併設、くつろぎの場の設置

(※)コンテンツ…情報の中身・内容

⑷　利用状況の変化

図書館の利用登録者数は、平成19年度の60,721人をピークに、平成29年度には2万人を下回り、令和3年度は15,005人、令和7年4月現在で15,903人（うち市内在住者14,368人）と減少傾向が続いています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休館や業務縮小を行ったり、令和3年9月末に西図書館を旧東図書館に統合したため、入館者数、利用者数、貸出点数については減少しましたが、令和6年度の入館者数は、361,610人と回復する傾向となっています。

◆貸出冊数の推移

貸出冊数は、平成23年度の672,766冊をピークに、平成25年度には60万冊を下回り、令和2年度にはコロナ禍の影響を受け311,398冊と減少しましたが、令和6年度は

455,125 冊と少し回復しましたが、コロナ禍前までには至っておりません。

◆図書館行事への参加状況

コロナ禍で中止した行事を令和 5 年度から再開し、令和 6 年度にはお話会の回数を増やしたため、764 人と増加しました。

◆学習室利用状況

コロナ禍後に座席制限を解除し、令和 6 年度の利用者数は 13,917 人と回復しました。

別添２　利用実績グラフ

⑸　図書館サービスの現状

図書館利用状況としては、登録者数、貸出冊数ともに減少傾向にあり、主な要因は、インターネット、スマートフォン等の普及、電子図書の普及により手軽に入手できるようになったことがあげられます。この状況については、多くの公共図書館が課題として認識しており、現代図書館の抗えない変化点として認めることができます。

２　新たなサービス計画骨子

第１期：コロナ禍及び図書館の統合という急激な変化への対応

第２期：安定したサービスの素地作り

第１期の計画を踏まえつつ、新たな目標に「子ども読書活動の推進」を追加し、市の読書人口のすそ野を広げていこうとするものです。

○　視点１　多様な利用者の満足度の向上

-事前予約による学習室の提供

-スマホ利用券の導入

-情報発信の質及び量の向上

○　視点２　読書環境の整備

-セルフ貸出機の導入

-ブックカートの設置

-Wi-Fi 環境の整備

○　視点３　子ども読書活動の推進

-家庭・地域・学校などの関係機関や民間団体等との連携強化

-学校巡回図書「コレ読！３０」の評価及び充実

-「コレ読！ＴＥＥＮＳ」コーナーの拡充

-読み聞かせ等ボランティアの養成及び活躍する場の提供

-学校図書館ネットワークの研究

視点	①多様な利用者の満足度の向上 ②読書環境の整備	③子ども読書活動の推進
取組	・事前予約による学習室の提供 ・スマホ利用券の導入 ・情報発信の質及び量の向上 ・セルフ貸出機の導入 ・ブックカートの設置 ・Wi-Fi 環境の整備	・家庭・地域・学校などの関係機関や民間団体等との連携強化 ・学校巡回図書「コレ読！３０」の評価及び充実 ・「コレ読！ＴＥＥＮＳ」コーナーの拡充 ・読み聞かせ等ボランティアの養成及び活躍する場の提供 ・学校図書館ネットワークの研究

第２期北名古屋市図書館サービス計画概要

新たなサービス計画
安定したサービスの素地作り

第１期の計画を踏まえつつ、新たな目標に「子ども読書活動の推進」を追加し、市の読書人口のすそ野を広げていこうとするものです。

目標達成域

- ○　一人ひとりの読書と学びを支える。
- ○　読書を通した交流やつながりを広げる。
- ○　文化・芸術と出会う。
- ○　地域の歴史と文化の記録を蓄積し、地域の学びに活かす。
- ○　北名古屋市の魅力を発信する。
- ○　子ども読書活動の推進する。

サービスの素地作り

○　視点１　多様な利用者の満足度の向上

・事前予約による学習室の提供
・スマホ利用券の導入
・情報発信の質及び量の向上

○　視点２　読書環境の整備

・セルフ貸出機の導入
・ブックカートの設置
・Wi-Fi環境の整備

○　視点３　子ども読書活動の推進

・家庭・地域・学校などの関係機関や民間団体等との連携強化
・学校巡回図書「コレ読!30」の評価及び充実
・「コレ読! TEENS」コーナー の拡充
・読み聞かせ等ボランティアの養成及び活躍する場の提供
・学校図書館ネットワークの研究

3　基本方針について

図書館は、人々が豊かで創造的な生涯を送る助けとなる図書資料を収集・保存・提供する場です。また、今日では急激な社会情勢の変化や現代的課題を解決する糸口を情報として提供する場としても認識されています。こうした情報は文字や図像、音により資料に記され、世に送り出され、人々の手に届けられます。その点数は膨大で、内容は広範囲に及んでいます。同様に、人には多様な個性や特性があり、求める情報も多岐にわたります。多種多様の図書資料を備えた図書館は、利用者と情報の出会いの場です。図書館の機能は、人がそれぞれの求める形で図書館の資料を利用することにより、様々な機能を発揮します。

北名古屋市図書館は市民の生活において読書と学びの世界を広げる役割を担い、サービス環境を整備していくことを基本方針とします。

4　目標設定について

○　一人ひとりの読書と学びを支える。

○　読書を通した交流やつながりを広げる。

○　文化・芸術と出会う。

○　地域の歴史と文化の記録を蓄積し、地域の学びに活かす。

○　北名古屋市の魅力を発信する。

○　子ども読書活動の推進する。

5　北名古屋市図書館のサービス展開について

⑴　目標に基づく取組

ア　一人ひとりの読書と学びを支える。

いつでも自由に学ぶことができ、生涯にわたって一人ひとりが読みたい本や知りたい情報を得て主体的に学ぶ情報と機会を提供します。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
【新規】 スマホ利用券の導入	利用者のスマートフォンが図書利用券として使用できる等、利便性の向上を図ります。	図書利用券がスマートフォンでも表示できるようになり、スマホ利用券として使用できるようになります。

予約本受取窓口（サービスポイント）の設置	北名古屋市図書館（旧東図書館）を中心に、旧西図書館利用者の面的サービスを補完するため、名古屋芸術大学アートスクエア（文化勤労会館）1階受付に開設しています。	予約本受取窓口（サービスポイント）では、図書館の予約資料の受け取り、借りた資料の返却、図書利用券やパスワードの発行（受け渡しは後日）を申し込めます。また、検索端末（ＯＰＡＣ）で、検索・予約・貸出更新（1回）ができます。 令和3年10月6日から開設し、令和3年度は1,603名（貸出冊数2,591冊）、令和4年度は2,665名（貸出冊数4,452冊）、令和5年度は1,957名（貸出冊数3,378冊）、令和6年度は2,415名（貸出冊数4,289冊）の利用がありました。 ⇒引き続き、利用者が増加するよう周知に努めます。
コレ読！	図書館から新たな本との出会いを提供します。	従来のテーマ本コーナーに加えて、小規模ながら斬新なテーマでピックアップした書籍群を紹介する本棚を設置しています。 また、毎週130冊程の新着本の展示期間を2か月程とし、集約して設置することで利用者が新しい本を手に取りやすくし、利用者から高評価を得ております。 ⇒今後はテーマを募集し、リクエストに応じるなど拡張を検討します。
図書資料の徹底探索	愛知県公共図書館協会加盟館間資料相互貸借規約に沿って資料の相互貸借を行い利用に供します。	利用者のリクエストに応えられるよう愛知県内・県外（岐阜県・三重県・富山県・石川県・福井県・静岡県・国会図書館等）へ積極的に活用してきました。 ⇒利用者のリクエストに応えられるよう、取り組みを強化していきます。

オンラインサービスの利用促進	愛知県図書館などが実施している電子書籍サービスの利用促進及び電子書籍の導入について研究します。	愛知県図書館が導入している電子書籍サービスは、県民がオンラインで利用手続きをすることで、いつでもどこでも専門書・学術書を中心とした6,500冊以上の図書を無料で読むことができます。 また、図書館ホームページで「愛知県図書館電子書籍サービス」を市民に案内することにより、提供する図書資料の充実及び利便性の向上を図りました。 ⇒デジタル化、電子書籍の動向などを把握し、電子書籍の導入方法及び無料Wi-Fiの導入についても研究していきます。
学習室の提供	多様な学習者に向けて学習室を提供します。	学習室大・小（70席）に加え、会議室１を使用しない場合は臨時学習室（32席）として利用できるようにすることにより、多くの利用者に学習する場所を提供することができました。 ⇒事前にインターネットから「Ｗｅｂ予約」ができる座席予約システムを取り入れ、利用者の利便性の向上を図り、利用促進につなげます。
インターネットサービスの利用促進	図書館ホームページからの予約、貸出更新などが便利になり、これらのサービスに関する情報を利用者に周知するよう努めます。	Ｗｅｂからの蔵書検索、予約、貸出更新、今度読みたい本の登録など、サービスを拡充すると共に、スマートフォン端末用ページにより利用がさらに便利になりました。 ⇒インターネットサービスの利用促進及び利便性の向上に努めます。

アクセス方法の周知	図書館へのアクセス方法を周知することにより利便性を図ります。	広報北名古屋、北名古屋市ホームページ及び図書館ホームページにより「きたバス」・「シャトルワゴン」によるアクセスを随時周知しています。 ⇒「まちに図書があふれるプロジェクト」の「ぶらぶら文庫」マップなどの活用を支援していきます。

イ　読書を通した交流やつながりを広げる。

図書や読書を通して学ぼうとすること、知ろうとすること。こうしたアクションを通して交流、つながりを生みだしていきます。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
「どよう日の図書館」 －おはなし会－	土曜日を特定の日とすることにより、他の曜日とは異なる特別な日とし、利用者に「土曜日には図書館に行く」という感覚をもっていただくようにします。	読書を通した交流やつながりを広げるため、ボランティア団体との連携により、子どもと本をつなぎ、子どもの読書活動の推進を図るため、ボランティア団体の協力により回数を増やしおはなし会を開催したところ、参加人数が増え、より多くの子どもに対し読書体験を提供することができました。 ⇒多くの子どもたちが参加できる新たな行事の開催を検討します。
０歳文庫	０歳児に対しての絵本との出会いの大切さや楽しさを保護者に伝えるとともに、子育て支援を行います。	ブックスタートに代わる事業として、０歳児に対しての絵本との出会いの大切さや楽しさを保護者に伝えるため、図書館の「お話しコーナー」に赤ちゃん向け絵本棚を設置し、併せて子育てに関する本を案内し、保護者に対して子育て支援を行いました。 ⇒より多くの保護者に利用していただけるよう 10 か月児健診時に周知を行います。

まちに図書があふれるプロジェクト	児童館を軸とし、民間事業所による図書の配架も想定し、図書を媒介としてコミュニティを形成していくよう努めます。	公的機関としての図書館と「まちに図書があふれるプロジェクト」により「みんなの近くに本がある！を具現化しています。 この取組は、市民協働及びブックリサイクルを一体化した取組として独自の事業となり、市民の手により本を暮らしの中に配架し、まちづくりにつなげる事業としてＮＰＯなどと連携して事業の活性化を図っていきます。 令和 6 年度は、ブックリサイクルを有効活用、324 冊配布しました。 ⇒ブックリサイクルを活用し、「まちに図書があふれるプロジェクト」として、児童館を中心に市内事業所に設置されている「ぶらぶら文庫」を引き続き支援していきます。

ウ　文化・芸術と出会う。

文化・芸術と出会う機会を創造することにより感動をわき立て、創造性を育み、人々に豊かな暮らしを提供します。

項　目	方　向	令和 6 年度の現状と今後
名古屋芸術大学附属図書館との相互協力	北名古屋市図書館及び名古屋芸術大学附属図書館の利用者の相互利用に関する協定により行います。	名古屋芸術大学附属図書館東キャンパスは音楽・保育園関連の専門書を多数所蔵し、西キャンパスは美術関係の専門的な画集・図録・雑誌などを幅広く収集しています。 ⇒多くの方に利用していただけるよう利用方法等を周知していくことに努めます。

エ　地域の歴史と文化の記録を蓄積し、地域の学びに活かす。

一人ひとりの暮らしや営みは多様です。生活の場、学びの場、働く場としての北名古屋市の歴史、アイデンティティを知ることにより、地域性を共有する機会を提供します。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
地域資料の充実	地域の情報を収集し、提供することは、図書館としての重要な役割となっています。	本市の郷土に関する情報は、「昭和日常博物館（歴史民俗資料館）」及び図書館の郷土資料として多岐にわたって蓄積されています。 ⇒地域情報の収集・整理・提供する場の整備等を計画します。
北名古屋市歴史民俗資料館との連携	図書館事業の実施に際して、歴史民俗資料館の協力を得ることにより、事業内容を豊かにします。	図書館２階ロビーの展示スペースや地下駐車場車両展示コーナーは、北名古屋市に関する地域資料を含め展示しており、地域性を共有する機会を提供しています。 ⇒引き続き連携を行っていきます。

オ　北名古屋市の魅力を発信する。

「まちに学びがあふれる！」という目標により具現化された北名古屋市の姿を魅力ある北名古屋市像として発信していきます。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
広報活動の推進	広報北名古屋、地域紙を活用し、図書館サービスや事業の広報に努めます。	今年度も「図書館×昭和日常博物館 Selection・Column」として図書館・歴史民俗資料館で隔月担当とし、図書の紹介や図書館事業等の掲載を行ってきました。 ⇒毎月、より詳しい情報の発信に努めていきます。

図書館だよりの発行	毎月、図書館だよりを発行し、さらに内容の充実に努めます。	子ども向けに読みやすく分かりやすい図書館だよりを毎月発行し、図書館ホームページにも掲載しました。 ⇒さらに充実した紙面となるよう努めていきます。
市役所各課との連携	市役所各課の事業と連携し、関連する図書のコーナーを設け、情報提供に努めます。	高齢福祉課と連携し、9月に認知症への理解や予防に関する理解を深めていただくために、認知症に関する図書やパンフレットを集めた「コレ読！」コーナーを設けました。 ⇒多様な連携を引き続き行っていきます。

カ　子ども読書活動を推進する。

家庭、地域、学校などの関係機関や民間団体等が連携・協力し、子どもの自主的な読書活動を推進します。

項　目	方　向	令和6年度の現状と今後
【新規】 「コレ読！TEENS」コーナーの設置	中高生向けにピックアップした本棚を設置します。	中高生向けに「これ読んでみて！」を集め、3か月ごとにテーマを変える「コレ読！ＴＥＥＮＳ」コーナーを設置します。 市内中学生のタブレット端末の画面上のショートカットキーから市図書館のおすすめの本のリストにアクセスできるよう環境を整えて、生徒の読書活動を推進していきます。
【新規】 学校図書館ネットワークの研究	学校図書館の蔵書検索ができるように研究していきます。	一部の学校図書館で取り入れている蔵書検索について、各学校でもできるように学校図書館ネットワークの研究をしていきます。

学校図書館との連携及び「子ども読書活動推進計画」の推進 「司書教諭会」の設置	学校図書館との連携を強化するとともに、「子ども読書活動推進計画」に基づき子どもの読書活動を推進します。	学校図書館の活性化、連携等を協議・研究するため「司書教諭会」を組織し、学校図書館との連携事業を行いました。 10 月には昨年に引き続き子どもの読書活動の実態把握のため、小学 2 年生・5 年生と中学 2 年生を対象にアンケート調査を実施しました。 ⇒アンケート結果を分析し、引き続き子どもの読書活動を推進します。
学校図書館との連携事業「学校司書教諭等研修会」の実施	司書教諭等を対象に学校図書館の運営・活用等に関する研修会を実施します。	司書教諭等を対象に学校図書館の運営・活用等に関する研修会を実施しました。 ⇒能力向上を目指した研修を行い、学校図書館の活性化を支援します。
学校図書館との連携事業学校巡回図書「コレ読！３０」の実施	各小学校図書館にひと月ごとに、これ読んでみて！を集めた「コレ読！３０」を届ける巡回図書を実施します。	各小学校図書館内に新設した本棚に、これ読んでみて！を集めた「コレ読！３０」をひと月ごとに学校を移動する巡回図書として実施しました。 ⇒学校図書館と連携を図り、児童の読書活動を推進していきます。
英語学習を支援する図書館資料の収集と活用	小学校における英語の教科化をはじめとする英語学習・教育への強化に伴い、これをサポートする資料を配架します。	小学生以下を対象とした英語関連資料は 1,212 点に及びますが、図書館に設置している英語図書コーナー用の英語の多読用図書も随時購入しており、今年度蔵書数は 346 冊となりました。 ⇒積極的な収集に努めます。

司書体験の実施	司書体験の事業を通じて、図書館サービスへの理解を深めます。	5 月 11 日に「子ども読書の日」記念事業として、小学生を対象に「子ども司書体験」を実施し、高学年・低学年各 6 名、計 12 名の参加者がありました。 ⇒継続的に開催し、本や図書館に親しむきっかけづくりに努めます。
学校等への団体貸出の推進	小中学校や保育園、児童クラブ等での調べ学習や朝読書等に必要な資料を収集し、提供します。	団体貸出は随時利用されており、今年度は、貸出団体数 27 団体、貸出冊数 3,764 冊でした。 ⇒利用率向上のため、調べ学習等に必要な資料等を収集し、推進していきます。
県民の日学校ホリデー関連イベントの開催	子どもたちにより本や図書館に親しんでもらうイベントを開催し、図書館を知ってもらう機会を提供します。	11 月 22 日に小・中学生を対象に「もっと図書館をすきになる～しおりを作って図書館たんけん！～」を開催しました。 また、小・中学生の来館者 74 人にオリジナルしおりを配布しました。 ⇒本や図書館に親しむきっかけとなるイベントを開催し、児童生徒が来館する機会を提供していきます。

⑵　基本的な取組

ア　計画的な資料の収集と保存

「資料収集方針」に基づき、資料費を有効に活用し、計画的な収集を行います。特に、予約の多い図書などを中心に資料の収集を図り、限られた資料費を効率的・有効に活用します。

愛知県内公共図書館が所蔵する希少資料を保存する「ラストワン・プロジェクト」に参加し、他の公共図書館との分担保存に努めます。また、資料の除籍は、除籍基準に基づいて適正に行います。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
ラストワン・プロジェクト(※)への参加	希少資料の分担保存に努めます。	平成 26 年度から運用が始まり 2,919 冊を登録しています。 ⇒希少資料の保存に努めます。
計画的な図書館資料の収集と保存	図書資料費の有効活用を図り、収集方針に基づいた資料収集を行い、毎年、各分野における新しい資料を増やします。	図書資料を精査して収集しました。 ⇒利用者の目線に立った資料の収集に努めます。
ブックリサイクル	除籍資料の再利用を進めます。	10 月下旬にまちに図書があふれるプロジェクト向けブックリサイクルを開催し、3 施設に除籍本を 324 冊、保育園に除籍本を 178 冊を配布しました。11 月 2 日には市民向けに開催し、271 名に 2,367 冊配布し、合計 2,869 冊配布することができました。 ⇒定期的にブックリサイクルを開催し、図書の有効活用を図ります。
視覚障害者用資料の充実	視覚障害等のある利用者へ図書やＣＤを提供します。	今年度も点字資料や朗読ＣＤ等の収集に努め、点字資料 153 点、ＣＤ（文学作品を朗読したもの、落語等）1,016 点、合計 1,169 点を利用者に提供することができました。 ⇒視覚障害等で活字による情報収集が困難な方のために、朗読ＣＤ等の収集に努めます。

(※)ラストワン・プロジェクト…県内図書館1館のみが所蔵する資料を将来にわたって利用できるよう、県内図書館で協同して保存する取組

イ　環境の整備

資料を適正に管理し、整理と定期的な点検、開架資料の更新を行い、館内掲示などにより利用者に使いやすい図書館環境の整備に努めます。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
【新規】 ブックカートの設置	館内でご利用いただけるブックカートを設置します。	ブックカートを設置し、様々な世代の利用者の利便性の向上を図ります。
【新規】 セルフ貸出機の導入	利用者自身で貸出手続きができるセルフ貸出機を導入します。	セルフ貸出機を導入し、利用者自ら貸出処理を行うことにより、待ち時間の短縮、プライバシー保護を実現します。
図書館整備事業	建物改修を計画的に検討し、快適な空間づくりに努めます。	乗用エレベーターについて、更新工事を行いました。 ⇒令和７年度は、空調機更新工事、受水槽・高置水槽塗装工事、図書館高圧ケーブル取替工事、１階トイレ改修工事実施設計を行います。引き続き、計画的に改修工事を行います。
パソコン専用コーナーの設置	パソコン等を使用できる専用コーナーを設置し、利用者の利便性の向上を図ります。	パソコンや電卓等、キータッチの音がする機器の使用を禁止していましたが、６月に新たにパソコン等の専用席を１階のココ〇（マル）コーナーに６席設置しました。 ⇒利用者の調査、研究等の利便性の向上を図り、利用促進につなげます。

ウ　業務水準の向上

職員対応マニュアル等を整備し、窓口対応等を共通化するとともに、職員研修に参加し、図書館サービスの向上を図ります。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
職員研修の実施	接遇研修、資料検索研修等を実施し、業務水準の向上を図ります。	愛知県図書館主催の館外研修（図書館協力担当者新任研修会、レファレンスサービス研修、新任者研修、危機管理研修）及び市主催の研修（図書整備講習会、ＰＯＰづくり講習会）に参加し、図書館サービスの向上となるよう知識を深めました。 ⇒必要な研修に参加し、職員の資質向上に努めます。

エ　ライフステージにあった図書館サービスの提供

これからの北名古屋市を支える子育て世代、高齢者など、世代別のニーズを考慮した図書館サービスに努めます。

項　目	方　向	令和６年度の現状と今後
子育て世代へのサービス	子育てに関連する資料や児童書を充実させ、子育て支援施設と連携した情報提供に努めます。	子育て支援に関する図書の充実を図ります。また、「０歳文庫」において、子育て支援関連の図書を案内しました。 ⇒子育て支援についての情報提供を引き続き行っていきます。
高齢者世代へのサービス	高齢者のニーズが高い資料を充実させ、関連機関とも連携した情報提供に努めます。	高齢者のニーズが高い、生きがいや健康づくりに関する資料を充実を図っています。 ⇒地域包括ケア推進室等と連携を図り、情報提供に努めます。
大活字資料の収集と提供	大活字資料を収集し、展示、紹介して利用促進に努めます。	大活字本の利用が年々増加しているため、今年度も収集に努め 866 冊の所蔵となりました。 ⇒資料の充実を図ります。

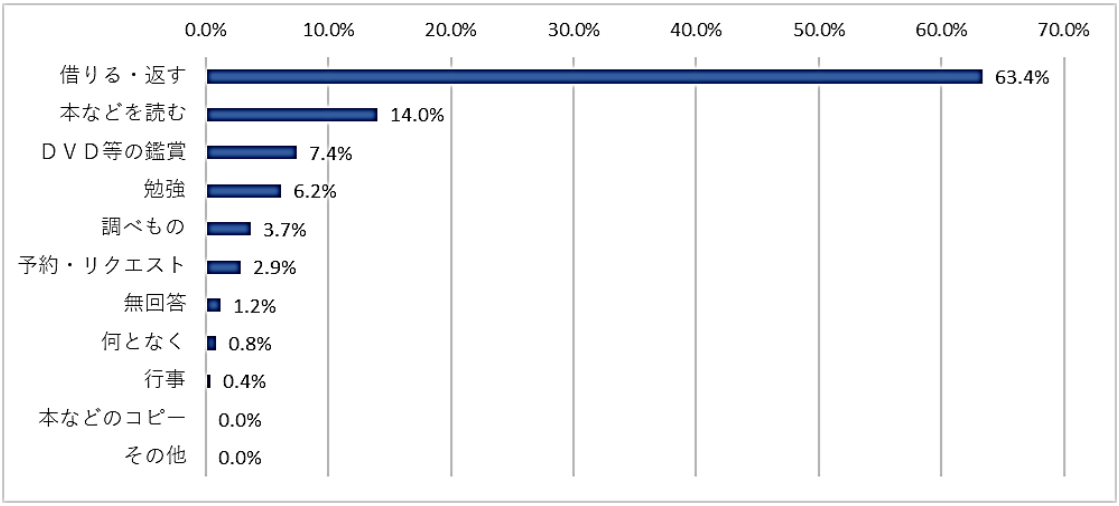
別添１

アンケート調査（H24・H28・R7年度）に見る利用形態

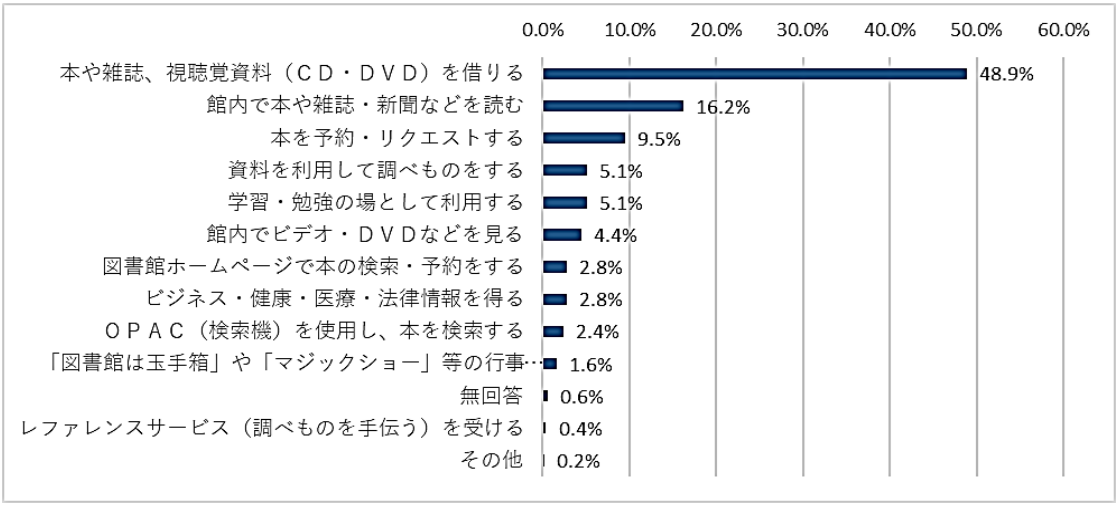
図書館サービス計画策定に伴い、図書館の利用形態についてアンケート調査を再評価する。

１　来館利用目的

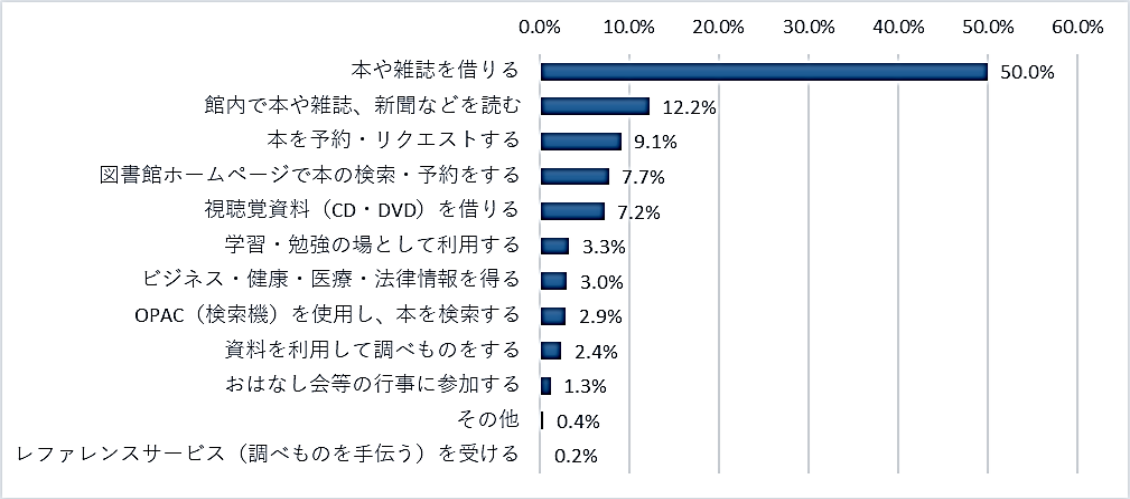
【平成24年度】
来館の目的は？（複数回答可）



【平成28年度】
図書館を利用する目的について（複数回答可）



【令和７年度】
図書館を利用する目的について（複数回答可）

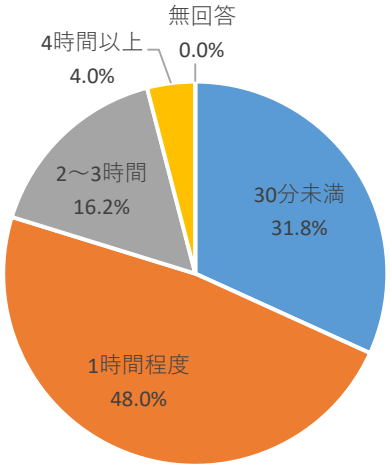


回答者の図書館の利用目的としては、大きな変化は見られず、「本や雑誌を借りる」が最も多く、続いて「館内で本や雑誌、新聞などを読む」が多かった。

２　滞在時間

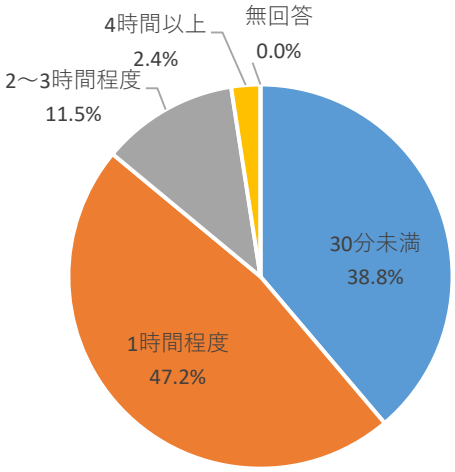
【平成24年度】

選択肢	回答者数	割合
30分未満	55	31.8%
1時間程度	83	48.0%
2～3時間	28	16.2%
4時間以上	7	4.0%
無回答	0	0.0%
合　計	173	100.0%



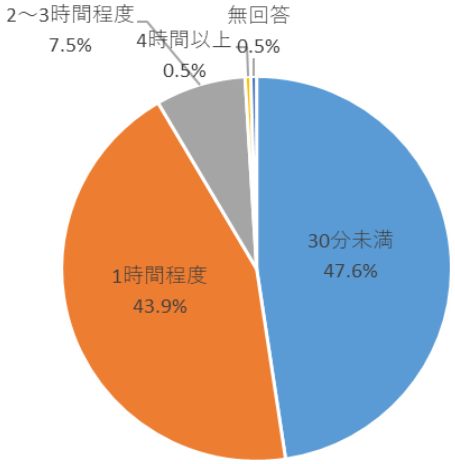
【平成28年度】

選択肢	回答者数	割合
30分未満	111	38.8%
1時間程度	135	47.2%
2～3時間程度	33	11.5%
4時間以上	7	2.4%
無回答	0	0.0%
合　計	286	100.0%



【令和７年度】

選択肢	回答者数	割合
30分未満	401	47.6%
1時間程度	370	43.9%
2～3時間程度	63	7.5%
4時間以上	4	0.5%
無回答	4	0.5%
合　計	842	100.0%

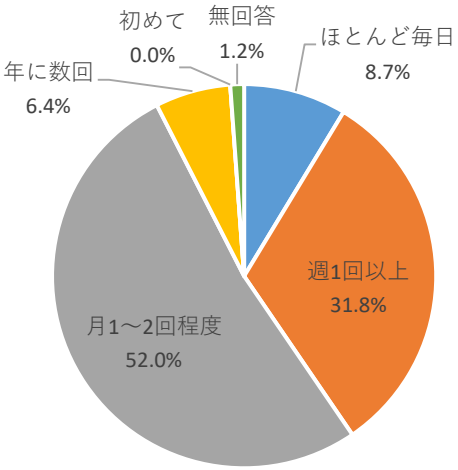


回答者の図書館滞在時間に関しては、平成２８年度までは「1時間程度」が最も多く、続いて「30分未満」であったが、現在は、「30分未満」が最も多く、続いて「1時間程度」と、さらに短時間利用者が増えていることがわかった。

３　利用頻度

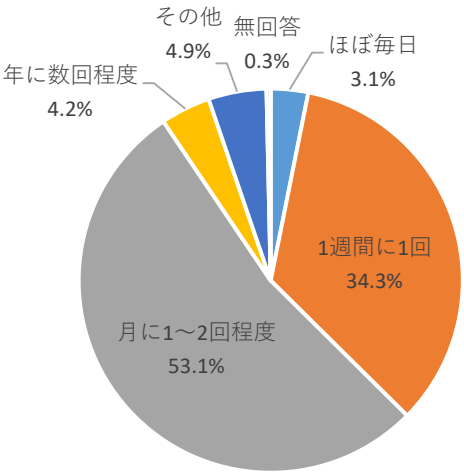
【平成24年度】

選択肢	回答者数	割合
ほとんど毎日	15	8.7%
週1回以上	55	31.8%
月1～2回程度	90	52.0%
年に数回	11	6.4%
初めて	0	0.0%
無回答	2	1.2%
合　計	173	100.0%



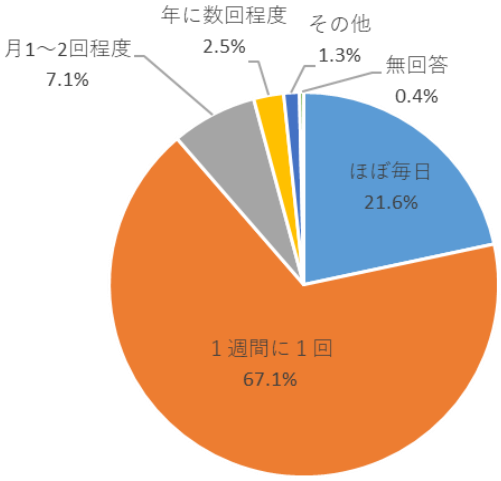
【平成28年度】

選択肢	回答者数	割合
ほぼ毎日	9	3.1%
1週間に1回	98	34.3%
月に1～2回程度	152	53.1%
年に数回程度	12	4.2%
その他	14	4.9%
無回答	1	0.3%
合　計	286	100.0%



【令和７年度】

選択肢	回答者数	割合
ほぼ毎日	182	21.6%
１週間に１回	565	67.1%
月1～2回程度	60	7.1%
年に数回程度	21	2.5%
その他	11	1.3%
無回答	3	0.4%
合　計	842	100.0%



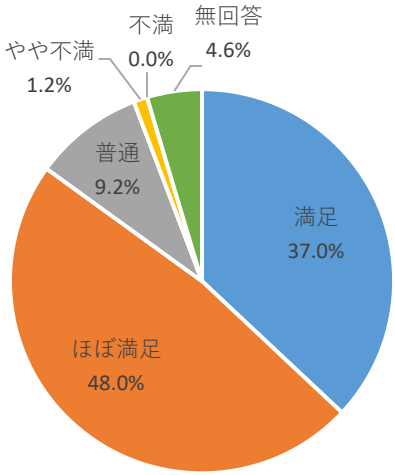
回答者の図書館の利用回数に関しては、平成２８年度までは「月に1～2回程度」が最も多く、続いて「1週間に1回」が多かった。

現在は、「1週間に1回」が最も多く、続いて「ほぼ毎日」と、図書館の利用頻度が高くなったと考えられる。

4　満足度

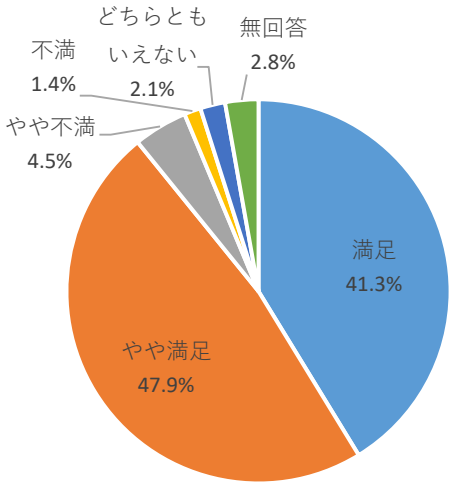
【平成24年度】

選択肢	回答者数	割合
満足	64	37.0%
ほぼ満足	83	48.0%
普通	16	9.2%
やや不満	2	1.2%
不満	0	0.0%
無回答	8	4.6%
合　計	173	100.0%



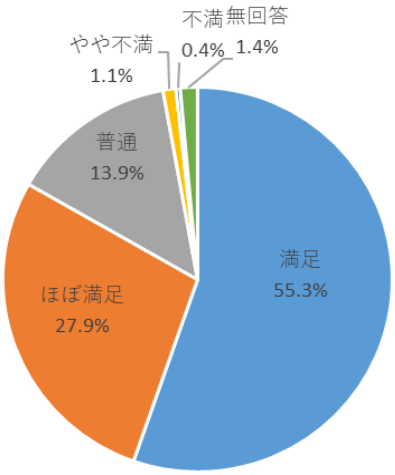
【平成28年度】

選択肢	回答者数	割合
満足	118	41.3%
やや満足	137	47.9%
やや不満	13	4.5%
不満	4	1.4%
どちらともいえない	6	2.1%
無回答	8	2.8%
合　計	286	100.0%



【令和７年度】

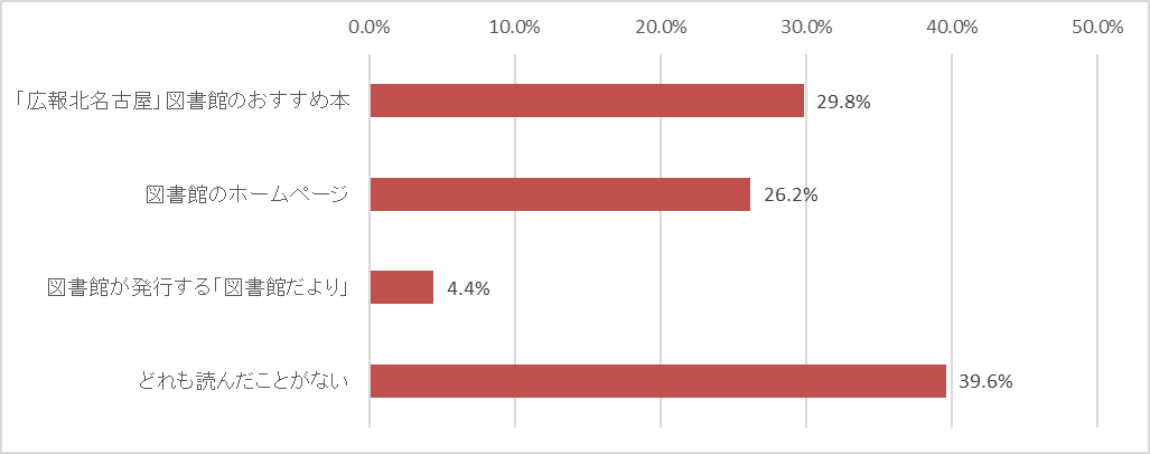
選択肢	回答者数	割合
満足	466	55.3%
ほぼ満足	235	27.9%
普通	117	13.9%
やや不満	9	1.1%
不満	3	0.4%
無回答	12	1.4%
合　計	842	100.0%



「満足」の回答が37.0%から41.3%に増加し、現在は55.3%と全体として満足度の高さが表れている。

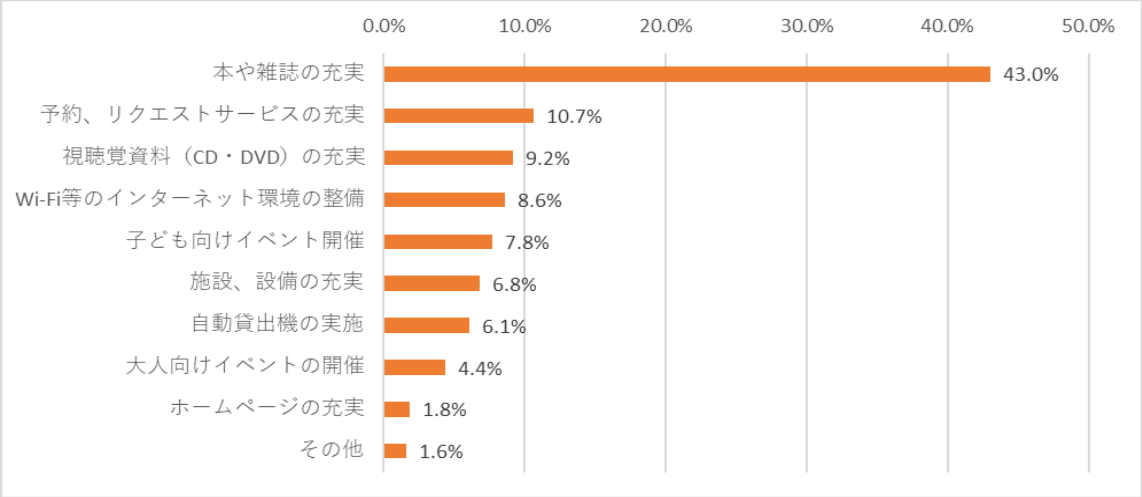
しかし、「満足」及び「ほぼ満足」を集計すると、85.0%から89.2%と上昇していたが、現在は83.2%とやや低下している。

5　図書館からのお知らせや情報で読んだことがあるもの（複数回答可）
【令和７年度】



図書館からのお知らせや情報で読んだことがあるものに関しては、「広報北名古屋」は29.8%、「図書館のホームページ」は26.2%、「図書館だより」は4.4%、「どれも読んだことがない」は39.6%と図書館が発信する情報へのアクセスが低い。

6　今後充実してほしいもの（複数回答可）
【令和７年度】



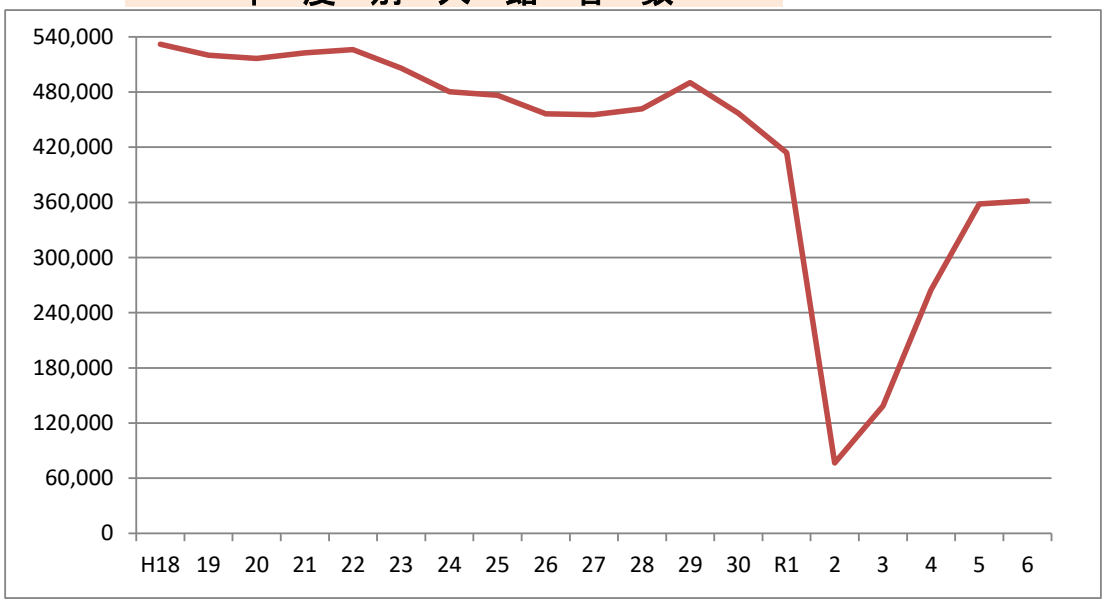
今後図書館で充実してほしいものに関しては「本や雑誌の充実」が最も多く、続いて「予約、リクエストサービスの充実」が多かった。

利 用 実 績 グ ラ フ

別添2

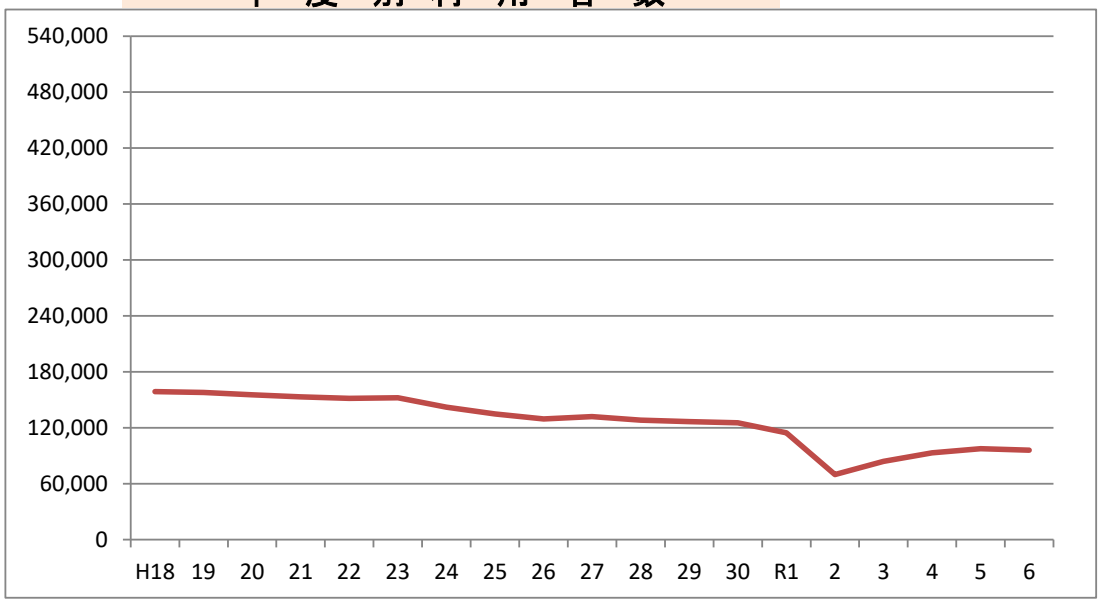
年度	入館者数
H18	531,990
19	520,179
20	516,355
21	522,516
22	526,040
23	505,846
24	480,447
25	476,327
26	456,342
27	455,486
28	461,796
29	490,309
30	456,994
R1	414,057
2	76,574
3	138,556
4	264,708
5	358,257
6	361,610

年 度 別 入 館 者 数



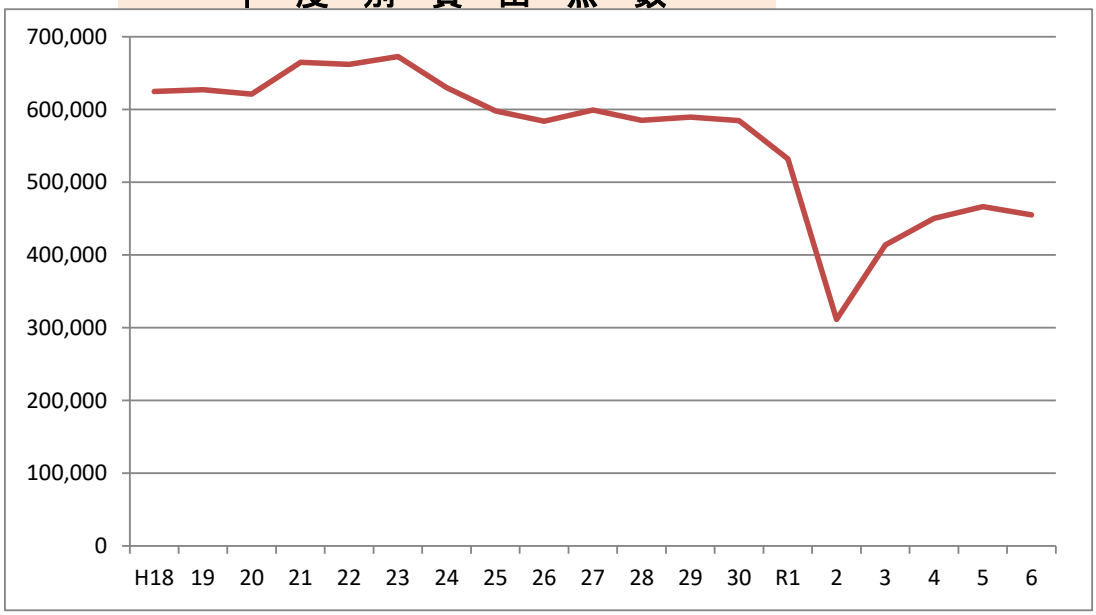
年度	利用者数
H18	158,767
19	157,988
20	155,292
21	152,966
22	151,568
23	152,102
24	141,974
25	134,727
26	129,497
27	132,098
28	128,074
29	126,683
30	125,319
R1	114,471
2	69,785
3	83,986
4	93,182
5	97,647
6	95,919

年 度 別 利 用 者 数

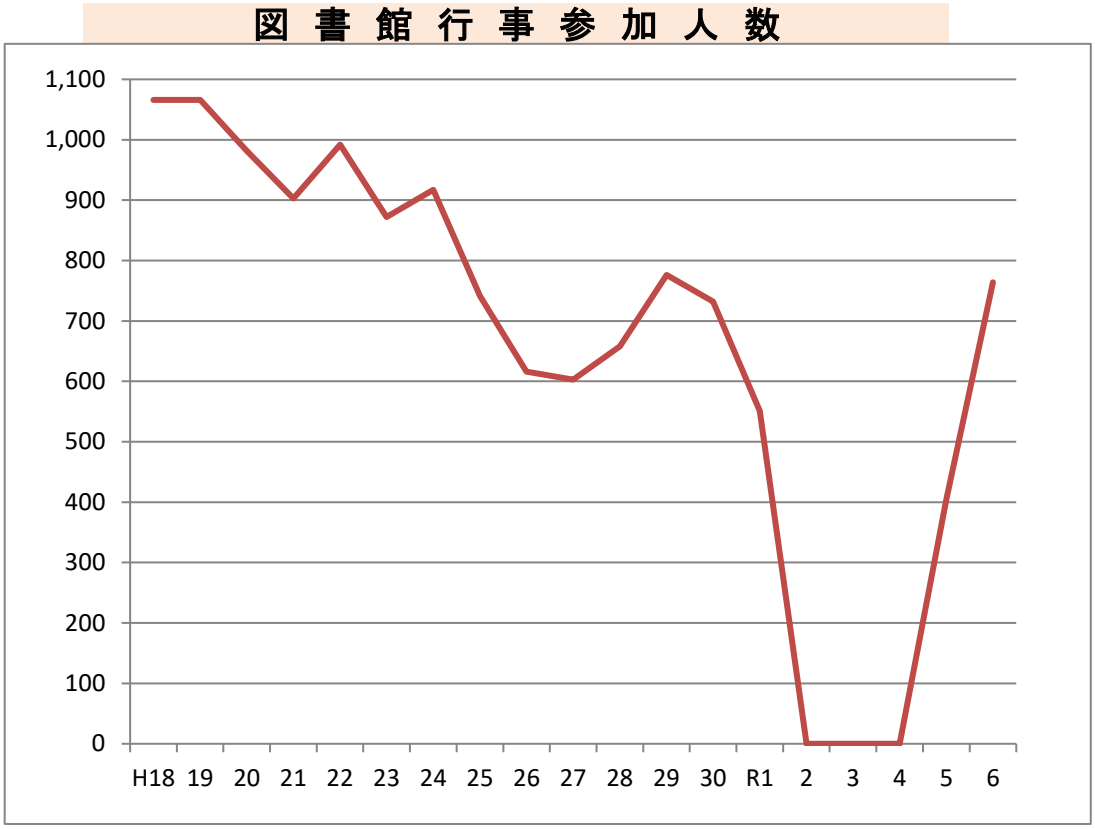


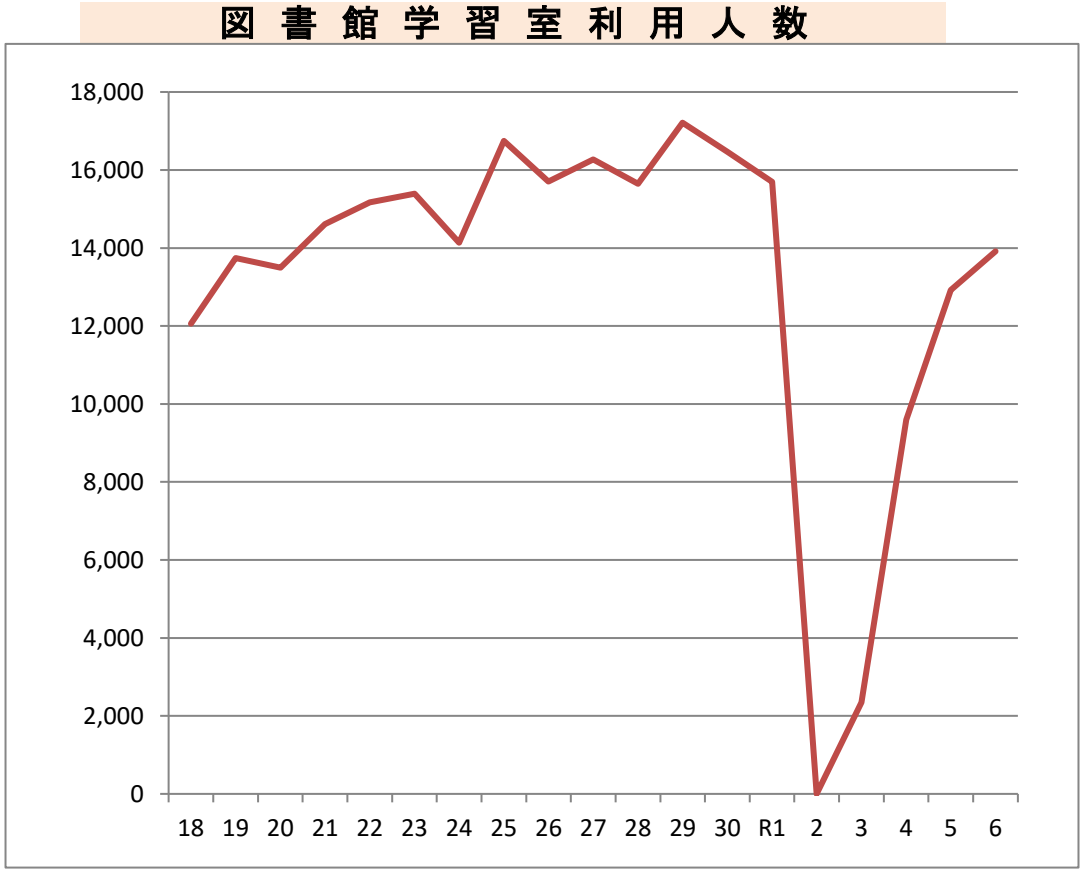
年度	貸出点数
H18	624,926
19	627,044
20	621,314
21	664,804
22	661,825
23	672,766
24	630,134
25	598,217
26	583,959
27	599,298
28	585,163
29	589,680
30	584,761
R1	532,197
2	311,398
3	413,775
4	450,421
5	466,364
6	455,125

年 度 別 貸 出 点 数



年度	参加人数
H18	1,066
19	1,066
20	982
21	903
22	992
23	872
24	917
25	741
26	616
27	603
28	658
29	776
30	732
R1	551
2	–
3	–
4	–
5	405
6	764



※ お話会、紙芝居会の参加人数

年度	利用人数
18	12,060
19	13,745
20	13,492
21	14,613
22	15,171
23	15,389
24	14,134
25	16,747
26	15,703
27	16,270
28	15,649
29	17,213
30	16,470
R1	15,697
2	–
3	2,344
4	9,598
5	12,918
6	13,917